

# 白浜町 議会だより

白浜町中学生議会  
令和4年8月22日

No. 66

令和4年(2022)11月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会

## CONTENTS

令和4年第3回定例会	2
一般質問	6
町議会・町議会議長の主な動き	10
次回定例会日程など	背表紙

# ▷▷ 令和4年第3回定例会 (9月6日～9月21日)

6日	第1日【開会、町長挨拶、提案理由説明】 ・会期の決定 ・提案理由説明(条例改正2件、補正予算4件、報告2件、その他5件)
15日	第2日【一般質問】 ・小森議員、黒田議員、水上議員、横畑議員 ※P6～P7に内容記載
16日	第3日【一般質問】 ・松田議員、辻議員、堅田議員、長野議員 ※P8～P9に内容記載
20日	第4日【提案理由説明、特別委員会の設置、議案審議】 ・追加議案の提案理由説明(決算認定9件、報告3件、条例改正1件、補正予算3件) ・決算審査特別委員会の設置 ・議案審議(条例改正2件、補正予算4件、工事請負契約の締結2件、土地の無償譲渡1件、その他2件)
21日	第5日【議案審議、閉会】 ・議案審議(報告2件、条例改正1件、補正予算3件) ・委員会発議案件(議員派遣1件、閉会中の継続調査申出・継続審査申出 各1件)

## 条例改正

- 白浜町営住宅条例の一部を改正する条例について
- 白浜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 白浜町水道料金の額の特例に関する条例の一部を改正する条例について

## 補正予算

### ○令和4年度白浜町一般会計補正予算(第5号)

- ・既定予算への補正額

6億4020万円

- ・補正後の歳入歳出予算総額

128億7335万円

主な補正内容は次のとおり

#### 【総務費】

- ・コミュニティFM放送局放送設備更新事業

470万円

- ・財政調整基金積立金

2億3800万円

- ・庁舎等整備基金積立金

5000万円

- ・ふるさと白浜応援寄附金事業

2億7500万円

- ・自治活動振興補助事業

231万円

- ・企業誘致促進助成金事業

386万円

#### 【民生費】

- ・湯崎保育園備品整備事業

1000万円

#### 【衛生費】

- ・椿診療所移転改修事業

365万円

- ・焼却施設等調査委託事業

1165万円

#### 【農林水産業費】

- ・高性能林業機械等整備補助事業

100万円

#### 【観光費】

- ・観光防災調査委託事業

240万円

#### 【教育費】

- ・小学校施設修繕事業

157万円

○令和4年度白浜町一般会計補  
正予算(第6号)

- 既定予算への補正額 1億8820万円
- 補正後の歳入歳出予算総額 130億6155万円

主な補正内容は次のとおり

- 【民生費】生活応援商品券配布事業 1億1800万円
- 【観光費】燃油価格高騰対策事業補助金 340万円

○令和4年度白浜町国民健康保  
険事業特別会計補正予算(第  
2号)

- 既定予算への補正額 2450万1千円
- 補正後の歳入歳出予算総額 29億3092万7千円

○令和4年度白浜町介護保険特  
別会計補正予算(第2号)

- 既定予算への補正額 8405万円
- 補正後の歳入歳出予算総額 33億6532万5千円

○令和4年度白浜町簡易水道事  
業特別会計補正予算(第1号)

- 既定予算への補正額 746万9千円
- 補正後の歳入歳出予算総額 1億396万9千円

○令和4年度白浜町簡易水道事  
業特別会計補正予算(第2号)

- 既定予算への補正額 55万円
- 補正後の歳入歳出予算総額 1億451万9千円

○令和4年度白浜町水道事業特  
別会計補正予算(第1号)

- 既定予算への補正額 55万円
- 補正後の歳入歳出予算総額 8億1325万円
- 収益的収入 7億4855万円
- 収益的支出 7億4855万円

○令和4年度白浜町土地開発公  
社会計補正予算(第1号)

- 既定予算への補正額 680万4千円
- 収入予算 449万5千円
- 支出予算 449万5千円
- 補正後の歳入歳出予算総額 3622万6千円
- 収入予算 3387万1千円
- 支出予算 3387万1千円

報告

○第25期南紀白浜コミュニティ  
放送株式会社経営状況の提出  
について

○令和3年度公益財団法人白浜  
医療福祉財団経営状況の提出  
について

○令和3年度健全化判断比率の  
報告について

○令和3年度資金不足比率の報  
告について

工事請負契約の締結

【工事名】  
里谷橋修繕工事

【契約金額】  
5796万4500円

【契約の相手】  
白浜町日置2052番地の1  
平阪建設株式会社

【工事名】  
葛原橋修繕工事

【契約金額】

【契約の相手】

白浜町日置1212番地の1  
株式会社日置川建設

6281万円

土地の無償譲渡

【譲渡した土地】

- 大古字下モ仙場622番
- 大古字下モ仙場623番1
- 白浜町大古622番地 大古区

決算審査特別委員会の設置

令和3年度一般会計及び各特別  
会計の決算認定について、特別委  
員会を設置し、閉会中に継続審査  
することとした。

- 委員は次のとおり。
- 委員長 辻 成紀
- 副委員長 堅田 府利
- 委員 長野 莊一、溝口 耕太郎
- 廣畑 敏雄、横畑 真治
- 西尾 智朗、水上 久美子
- 松田 剛治、黒田 武士



# Pick up!

9月定例会を中心に審議内容をピックアップしてご紹介します。

- ①白浜町最終処分場の閉鎖について 【全員協議会(8月17日開催)】
- ②白浜町都市計画マスタープラン改訂について 【全員協議会(9月6日開催)】
- ③ふるさと白浜応援寄附金事業 2億7500万円 【補正予算(9月定例会)】
- ④生活応援商品券配布事業 1億1800万円 【補正予算(9月定例会)】
- ⑤水道料金減免事業 6680万円 【補正予算(9月定例会)】

## Pick up! ①

### 白浜町最終処分場の閉鎖について

全員協議会

平成10年4月1日に供用を開始した樺最終処分場が、令和5年3月31日をもって使用期間満了を迎えるにあたり、安全かつ計画的な施設閉鎖に向けた手続き等について説明がありました。

○今後の予定

〈令和5年3月末〉

・使用期間満了

〈令和5年9月末〉

・施設閉鎖手続き完了

・水質検査等の継続

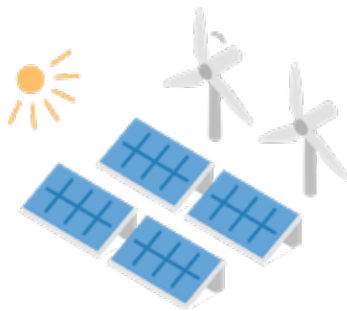
・覆土整備完了

〈令和7年9月末〉

・施設廃止

・水処理施設等撤去開始

※廃止には、閉鎖後の水質検査が2年間連続して基準値を下回る必要がありますが、基準値を上回った場合には、2年間の経過観察が必要となります。



**問** 最終処分場用地の跡地利用について、どのように計画しているか。

**答** 最終処分場用地は、一般社団法人樺共済組から借り受けており、現在の自治体等の事例を参考に跡地利用について検討を進めている。

今後、水処理、廃棄物、覆土の安定状況を見て、長期的な跡地利用が定まった場合は、速やかに返還できるように、順次施設の撤去等を進めていきたいと考えている。

## Pick up! ②

### 白浜町都市計画マスタープラン改訂について

全員協議会

平成23年3月に策定した「白浜町都市計画マスタープラン」は、策定から10年、前回の一部改訂から5年が経過し、町を取り巻く環境も変化していることから、これらの変化に対応した計画とするため改訂を行います。

○市町村マスタープラン

土地の利用方法や道路・公園などの都市整備方針などを示し、町の将来像とその実現化方針を定めた計画のことです。

改訂にあたっては、アンケート調査を実施し、住民の意向を調査するとともに、町内各種団体等18名で構成する白浜町都市計画マスタープラン策定委員会を設置し、令和5年3月改訂に向け、取り組んでいます。



**問** マスタープランの改訂は10年、20年先を見据えたまちづくり、また、住民の方々の理解が得られるような取組が必要と考えるが、いかがか。

**答** マスタープランの改訂にあたっては、町内各種団体等で構成する白浜町都市計画マスタープラン作成委員会を設置し審議を進めている。

また、パブリックコメントを実施し、広く住民の意見を取り入れる機会も設けたいと考えている。

# Pick up!

9月定例会を中心に審議内容をピックアップしてご紹介します。

## Pick up! ③

### ふるさと白浜応援寄附金事業

2億7500万円

9月定例会

#### ○概要

平成20年度の税制改正で寄附金税制が拡充され、「ふるさと」を応援したいという方の思いを実現するため、地方公共団体に寄附した場合、住民税や所得税が一定限度まで控除されるようになりました。いただいた寄附金は、町の財源として、有効に活用されます。

#### ■問

ふるさと白浜応援寄附金を積極的に活用し、財源が課題となっている町の事業等を具体化していったらどうか。

#### ■答

寄附金は、附者から指定いただいた使途に応じて有効に活用させていただきます。ここ数年、寄附金も増加傾向にあることから、引き続き、財源の確保に向け、取組を推進していきます。



## Pick up! ④

### 生活応援商品券配布事業

1億1800万円

9月定例会

#### 新型コロナウイルス感染症に伴う住民向けの支援策として、

町民1人あたり5千円分の商品券を配布します。

#### ○使用期限

令和5年1月31日

#### ○郵送時期

令和4年11月上旬からゆうパックにて

#### ○対象者

①令和4年10月1日（基準日）において白浜町の住民基本台帳に記録されている方。

②基準日の翌日から令和4年10月31日までの間に白浜町に転入届、出生届等を提出された方。

○商品券内容  
1人あたり5千円（5百円券×10枚）

○配布方法  
同居世帯員の分を一括して世帯主宛にゆうパックにより郵送

#### ○問い合わせ先

民生課福祉係  
☎ 43-5702



## Pick up! ⑤

### 水道料金減免事業

6680万円

9月定例会

#### 新型コロナウイルス感染症や世界情勢、長引く円安の影響により物価高騰が続く中で住民生活や事業者を支援するため、水道の基本料金を4か月分免除します。

#### ○検針地区割

・A地区：白浜、東白浜、細野、西越、櫛ヶ峰、サニービーチ、バラード白浜、青葉台、堅田西地区の一部、才野、南白浜、樺、市江、塩野、大古、矢田、安宅、田野井、ロケ谷、安居、寺山

#### ○免除期間

令和4年11月1日～令和5年2月1日の検針分

#### ○検針区分

・A地区：第4期分（9月、10月使用分）と第5期分（11月、12月使用分）  
・B地区：第5期分（10月、11月使用分）と第6期分（12月、1月使用分）

・毎月検針地区：11月～2月分

○問い合わせ先  
上下水道課業務係  
☎ 45-2000

市鹿野、上滝

問

地域に最適な公共交通とは

答 協議会で近い将来の公共交通の在り方を検討

問 今年4月、JR西日本が赤字収支路線を初めて公表した結果、沿線自治体をはじめ、多くの住民に大きな衝撃と影響を与えたことと思われる。

答 今回、国の廃線対象路線に紀勢本線は含まれていないが、当局はこの事実をどのように受け止めているのか伺う。

問 近い将来、廃線問題が再燃した場合に向けて、「地域の最適な公共交通」の整備が急務であると考えますが、その対策や取組について、町の考えを伺う。

答 現在、白浜町地域公共交通計画を白浜町地域公共交通活性化協議会で作成している。

問 近い将来の公共交通の在り方について議論いただいている。今一度、公共交通の盛り上げに取り組んでまいりたい。

このほか、小森議員は「学力テストの結果と今後の教育支援について」、「公共施設における環境衛生（トイレ）の整備について」質問しました。



こもり かずのり  
小森 一典 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで



(JR白浜駅)

問

ふるさと納税の拡大と活用に向けた考えは

答 地元事業者と一体となって事業拡大を図る

問 白浜町のふるさと納税の件数、受入金額が増加している要因について、特別な取組があるのか伺う。

答 直近3年の取組については、返戻品提供事業者と返礼品の増加に努め、周知を図るための寄附受付ポータルサイトを大幅に増やしており、現在11サイトで運用している。

問 令和4年度以降も寄附金が増加するような対策はあるか伺う。

答 引き続き、返礼品提供事業者と提供返戻品を増やしていくとともに、地域で使用できる電子クーポンの導入を進める。

電子クーポンにより地域の飲食事業者も恩恵を得られるため、さ

らなる寄附訴求と消費拡大が図れるものと期待している。

問 ふるさと納税が増えれば自主財源が増え、町に還元できることが増える。ご協力いただいている町内の事業者との接点を強化し、地元事業者と一緒に良い白浜町のふるさと納税に取り組んでいきたいと提案するが、町の考えは。

答 ふるさと納税は自主財源確保の手段として、様々なまちづくり施策への活用を図るとともに、今後引き続き、地元事業者と一体となって、ふるさと納税事業のさらなる拡大に積極的に取り組んでいく。



くらだ たけし  
黒田 武士 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで





問

带状疱疹ワクチンの周知や接種助成の考えは

答 国の動向等に注視しながら、検討を進める

問 带状疱疹は、成人の90%以上が原因となるウイルスを体内に持ち、加齢、疲労や免疫力低下が原因で、80歳までに約3人に1人が発症すると言われている。

带状疱疹ワクチンを接種することで、発症しても軽症、後遺症予防などの効果が期待され、医療費の削減にもつながる。任意接種で高額なので、接種費用の助成ができないか伺う。

答 接種費用の助成については、予算が伴うことであり、対象年齢や助成額の設定、助成方法など、実施医療機関と協議等を進める必要もあり、また近隣市町の状況も踏まえながら検討していく必要があると考えている。

ヤングケアラーの実態に関する調査と支援

問 ヤングケアラーとは、本来大人が担うようなケア責任を引き受け、家族の介護や世話を日常的に行う18歳未満の子供のことで、実態調査では孤立や健康、学業への悪影響も報告されている。早期発見と支援体制を整え、課題解決へ、現状と今後を尋ねる。

答 町内小中学校では、ヤングケアラーに関する実態調査を年に3回実施しており、支援が必要な子供の早期発見や保護に努めている。また、対応については、福祉関係機関と情報共有、連携を図り、適切な支援が受けられるよう、引き続き努めてまいりたい。



みずかみ くみこ  
水上 久美子 議員



QRコードの有効  
期限は12月下旬まで



(生ワクチン1回約8,000円  
不活化ワクチン1回約22,000円)

問

持続可能なまちづくり 地域交通の今後は

答 協議会で近い将来の公共交通の在り方を検討

問 持続可能な地域づくりについて、地域での課題でよく上がるのが交通の不便を感じるのと声である。これらの課題について、買い物や病院などの診察、公共交通のない所など、もっと便利で地域の皆さんが暮らしやすい交通網の今後について伺う。

答 今年度、白浜町地域公共交通活性化協議会を立ち上げ、この協議会には、交通事業者だけではなく、地域住民の代表や学識経験者の方、国や県も委員としてご参画いただいております。協議会では課題抽出のための住民・利用者アンケートの実施を進めている。近い将来の白浜町の公共交通の在り方の検討・協議を重ねてまいりたい。

白浜町の観光について

問 白浜町は夏の観光のイメージが大きいですが、ジオパークや歴史などを絡めたオールシーズンの観光に目を向けた取組について伺う。

答 引き続き、南紀熊野ジオパーク推進協議会やジオパークガイドの皆様、観光協会等の関係団体と協力しながら取組を進めたい。

人口減少時代の自治体政策

問 人口減少についての今後の具体的な取組について伺う。

答 人口減少に歯止めをかけ持続的な発展を進めるために、「しごと」の創出とともに、若い世代が町にとどまり戻ってこられる環境づくりや、子育て世代に選ばれる活気あるまちづくりに引き続き、取り組んでまいりたい。



よこはた しんじ  
横畑 真治 議員



QRコードの有効  
期限は12月下旬まで



問

若者定住促進、子育て世代への支援策等の考えは

答 財政的に課題はあるが、有効な施策の展開を検討

問 第2期白浜町子ども・子育て支援事業計画で、「子育ての経済的負担の軽減」が明記されている。チャイルドシート購入の一部助成、出産祝い金制度、新婚世帯に対する家賃等の経済的支援、奨学金返還支援助成制度などの若者定住促進支援施策等について、実施時期も含め、町の考えを伺う。

問 子育て世代の災害時の支援として、液体ミルクの備蓄ができないか、町としての考えを伺う。

答 液体ミルクは保管期間が短いことなど、備蓄食糧として適さない面もあるが、調乳等が必要とせず、災害時の母乳代替食品として期待されていることも事実である。

まず、各ご家庭で準備していたかとともに、町でも備蓄ができないか前向きに検討してまいりたい。

答 本町への若者層の移住、定住の促進のためには、結婚から妊娠・出産・子育ての一貫した支援の充実の必要性を認識しており、財政的な課題はあるが、どのような施策が有効で効果があるのか次年度に向け検討を指示しているところであり、それらを精査し、実現可能なものは取り組んでまいりたい。

このほか、松田議員は「環境を考慮した学校施設の設備推進について」質問しました。



まつだ たけはる  
松田 剛治 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで



問

ローラースポーツ施設の整備等新たな取組は

答 有効性は認識しているが、課題が多く困難

問 町に新たなスポーツ（ローラー）施設を整備し、町の活性化に努めては

とから、現状においては困難であると考えます。

答 町内の子供たちが安心して利用できる施設整備については、スケートボード等のスポーツに限らず、すべての分野において必要であり、観光や地域づくりの場として活用することも十分に可能であると認識しているが、町内に協会や団体等が組織されていない状況で、整備には多くの課題がある

問 高校生が通学に用いる電車、バスの費用について半額補助を行うなど、子育て支援施策として、助成制度導入に向けた町の考えを伺う。

答 本町への若者層の移住、定住の促進のためには、結婚から妊娠・出産・子育ての一貫した支援の充実の必要性を認識しており、財政的な課題はあるが、どのような施策が有効で効果があるのか次年度に向け検討を指示しているところであり、それらを精査し、実現可能なものは取り組んでまいりたい。

若者の定住支援施策



つぎ せい き  
辻 成紀 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで



(田辺扇ヶ浜スケートパーク)



問 デザインナンバープレート導入の考えは

答 観光振興における効果を踏まえた判断が必要

**問** 原付バイクのナンバープレートは、市町村の裁量で図柄を入れることができる。

**答** 白浜町のナンバープレートは白地の無地であるが、白浜の風景や観光資源をデザインすることで、観光客にPRできるのではないかと。デザインナンバープレート導入の考えはないか伺う。

白浜町内に建立されている「句碑歌碑」について

**問** 白浜町内に44か所ある歴史的財産「句碑歌碑」を新しいコンテンツとして、観光客誘致に向けて活用し、発信していく考えはないか伺う。

**答** 白浜町は、通常であれば観光客数が年間300万人を超える観光地であることを踏まえ、現時点ではデザインナンバープレートの導入を考えてはいないが、導入している自治体における効果や、状況などを見定めながら適宜判断する必要はあるものと考えている。

**答** 白浜町は、白良浜や熊野古道、温泉など多くの魅力的な観光資源があり、毎年多くの観光客に訪れていただいているが、句碑・歌碑などの歴史や文学などのコンテンツが加わることで、より観光の町の魅力が増すと思われるので、観光資源として活用していければと考えている。

問 最終処分場閉鎖に向けた取組は

答 安全かつ計画的に施設閉鎖に向け取り組む

**問** 最終処分場閉鎖に関する課題とスケジュールについて伺う。

**答** 最終処分場は、来年3月末の廃棄物投入終了後に覆土を行う予定であるが、土地賃貸期限を踏まえ、埋立が完了している工区から本年11月頃に覆土を開始し、来年の6月末までには、最終覆土を終えたいと考えている。

県道改修工事とまちづくり

**問** 県道白浜久木線、県道日置川大塔線の改修工事と並行した町づくりについて伺う。

**答** 整備後の地域づくりは、白浜地域と日置川地域の連携とその相乗効果による活性化、安心・安全な暮らしの実現、地域内外の交流やあたたかいふれあいのまちづくりを行い、また、日置川流域の特性を伸ばし結びつけていくことにより、時代を先取りし、全国的にさらにアピールできる地域に発展させたいと考えている。

このほか、長野議員は「公職選挙において誰もが投票しやすい改善策について」、「部活動の地域移行について」質問しました。



かたた あつし 堅田 府利 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで



(昭和天皇御製碑)



ながの そういち 長野 莊一 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで



(白浜町最終処分場)

## 7月

5日 ● タブレット講習会

6日 ● 大辺路衛生施設組合議会

7日 ● 富田川治水組合議会

8日 ● 議会運営委員会

● 全員協議会

11日 ● 高速自動車道紀南延長促進協議会

総会

13日 ● 議会広報特別委員会

● タブレット講習会

14日 ● 紀南病院組合議会

● 新議員研修会

## 8月

2日 ● 富田川衛生施設組合議会

4日 ● 田辺周辺広域市町村圏組合議会

9日 ● 西牟婁郡町村議会議長会

13日 ● 県道白浜久木線改修促進協議会

● 県道日置川大塔線改修促進協議会

17日 ● 議会運営委員会

● 全員協議会

22日 ● 中学生議会

(タブレット講習会 1回目 R4.7.5)



# 議会ICT化に向けた取組

白浜町議会では、デジタル技術や情報通信技術を活用した議会のICT化を図ることで、議案審議の充実、迅速な情報発信につながるなど、より開かれ、身近な議会になるとの観点から、議会ICT化の導入について検討を進めています。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、感染拡大防止の観点から、デジタル技術等を活用した多様な働き方の改革が進められており、議会においても、感染防止対策の徹底とより効率的、効果的な議会運営の両立が求められているところです。

## これまでの主な取組

- ・先進地視察（平成30年）  
議会運営委員会  
視察先…那賀町議会（徳島県）  
内 容…議会活性化について
- ・先進地視察（令和元年）  
総務文教厚生常任委員会  
視察先…八峰町議会（秋田県）  
内 容…ペーパーレス会議

# ▷▷ 町議会・町議会議長の主な動き (7月～9月)

- 9月
- 26日 ● 紀南地区海上安全対策協議会
  - 29日 ● 田辺周辺広域市町村圏組合議会
  - 30日 ● 議会運営委員会
  - 6日 ● 第3回定例会 (第1日)  
● 全員協議会
  - 10日 ● 大規模土砂災害対策技術センター  
シンポジウム
  - 15日 ● 第3回定例会 (第2日)  
● 議会運営委員会
  - 16日 ● 第3回定例会 (第3日)  
● 議会運営委員会
  - 20日 ● 第3回定例会 (第4日)  
● 議会運営委員会
  - 21日 ● 第3回定例会 (第5日)  
● 議会運営委員会  
● 議会広報特別委員会

(タブレット講習会 2回目 R4.7.13)



## タブレット講習会の開催

これまで、先進地視察等を中心に議会ICT化の検討を進めてきましたが、タブレットやペーパーレス会議システムをどのように活用することで、議会運営の迅速化、効率化が図られるかを具体的に検証するため、議員が実際にタブレットを操作し、紙を用いない会議運営を体験する「タブレット講習会」を7月5日、13日に開催しました。

講習会では、デジタル技術を活用することで、会議の効率化、資源節減の効果が期待されるものの、機器導入に要する費用の検討、情報リテラシー教育の充実など、解決すべき課題が残されていることも改めて確認されました。

議会ICT化の導入に向けては、経費節減の効果を主眼に置くのではなく、事務の効率化、議会活性化に加え、行政情報を迅速に、より分かりやすく町民に向けて発信するなど、住民サービスの向上につながるよう、慎重に議論を進めていく必要があるとの結論に至りました。

行政情報を分かりやすく、迅速に



## 次回日程

次回定例会（12月）の日程（案）は、次のとおりです。

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29 議会運営委員会 10:00～	30	12/1	2	3
4	5	6 開会日 第1日 提案説明等 10:00～	7 (休会) ※委員会開催や 議案調査のため	8	9	10
11	12	13	14	15 第2日 一般質問 10:00～	16 第3日 一般質問 10:00～	17 (休会)
18	19	20 第4日 議案審議 10:00～	21 閉会日 第5日 議案審議 10:00～	22	23	24

12月議会の日程は、11月29日（火）開催予定の議会運営委員会で決定します。  
詳細は、議会事務局（43-6591）までお問い合わせください。

## 編集後記

令和4年第3回定例会が9月に行われ、今議会では8名の議員が一般質問に登壇し、子育てや若者支援、紀勢本線の現状と今後など、様々なテーマで町行政全般について活発な質問、意見が交わされました。また、議案審議では、橋修繕事業や診療所の移転事業など約8億3千万円の一般会計補正予算が可決されました。

気がつけばもう11月となり、白浜の冬の始まりを感じているところです。4月に町議会議員として初登庁したことがつい先日のことのように思い起こされ、今年は時間の経つのが特に早かったように感じます。年末年始に向けて心せわしく、何かとご多忙のことと思いますが、どうかお体にお気をつけてお過ごしください。（黒田）

## お知らせ

令和2年9月議会から、議会広報の一環として一般質問の様子をFMビーチステーションにて放送しております。（76.4MHz）

多くの方に聞いてもらえるよう、また、新型コロナウイルス感染症対策として議会の傍聴をお控えになる方にかんがみまして、限られた時間ではございますが、放送を始めしております。放送予定については、議会のホームページ等でお知らせしていますので、是非聞いてみてください。

### 議会広報特別委員会

委員長	水上久美子
副委員長	黒田 武士
委員	堅田 府利
	横畑 真治
	西尾 智朗
	辻 成紀

町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ

